

平成20年に『人恋酒場』でデビューし、これまでNHK紅白歌合戦に2度出場した三山ひろしさん。歌手を目指して上京した頃のことや現在の活動、そしてこれからのこととうかがいました。テレビで見るそのままの親しみやすい人柄の中に、夢を叶えてなお突き進む強さを感じます。

南国市で育つた子どもの頃の

活発な子どもでしたね。祖母が演歌が好きで、その影響で3歳、ころから歌っていました。祖母が言うには「意味もわからず歌つているのに歌に感情が出てる」と。もしかしたらこの子は歌手になれるんじゃないかなと思つたらしいです。

「自身で歌手になりたいと思ったのはいつ頃ですか。」

小学校の低学年です。地元のお祭りやカラオケ大会で歌つていて、祖母も「歌手になれるかも知れないから頑張つて歌いなさい」と応援してくれて、当時は一番近くにいる歌の先生でした。今でもテレビを見てあの歌い方はどうだったとか、いろい

K本格的に歌手を目指したのは、25歳で上京したときです。『NHKのど自慢』の土佐清水大会で優勝して、平成15年度のグランプリチャンピオン大会に出場しました。そのとき紅白歌合戦が行われるNHKホールに立って「ああ、僕はこれがやりたいんだ」と改めて思いました。母も「一回しかない人生だからやりたいことをどんどんやりなさい」と。

ただ、高知にはよう「帰らんき」と言いました。歌手になるのは相当難しかったから、高知も生まれ育った南国市もこれで最後やと思って高速バスに乗りました。そのときはもう涙が止まりませんでした。

古里を離れて12年が経ちますが、高知県民だなと感じるの、どんなときですか。

やっぱり高知の食べ物が食べたくなるときですね。高知産のししとつなんかをスーパーで見かけたら絶対手が伸びて買ってします(笑)。豚肉と炒めて食べますよ。それに自分で言うのもなんですが、僕は本当に「いじごつそつ精神」があると思います。いちがいなところがあつて一本氣で融通がきかんどうは、やっぱり士佐人やなあと。趣味で始めて今は仕事にもなつているけん玉(現在四段)も、一段を目指す姿勢は絶対崩したらいかんと思います。歌手といつのは皆さまに育てていただいて、生かされてステージに立たせてもらえ



A photograph of a young girl with short hair, wearing a dark tracksuit with white stripes on the sleeves and down the sides, standing on a stage and singing into a microphone. She is looking towards the right. To her left, there is a microphone stand with a small sign or card attached to it. The background consists of light-colored vertical blinds.



グレース浜すし 居酒屋 はま



▲ちようちんを配した懐かしい雰囲気。
暖簾をくぐるとおいしい匂いが漂う



▲ニラ塩やきそば600円・大盛900円(税込)
毎日朝採れの新鮮で甘いニラを使ってます



〈会場〉ザ クラウンパレス新阪急高知 花の間
〈時間〉●昼の部12:00 お食事12:30
ショータイム13:30～
●夜の部16:30 お食事17:00
ショータイム18:00～
〈料金〉全席22,000円

三山ひろし プロフィール
出身地：高知県南国市
趣味：読書・時代劇観賞
生年月日：1980年9月17日
血液型：AB型
好きな言葉：初心忘れるべからず
特技：着物の着付け、竹とんぼ製作、裁縫、

NEWS

第68回NHK紅白歌合戦 出場決定!

今年もまた大晦日の夜に三山ひろしさんの歌声が全国に響きます！
素晴らしいステージが見られるのが今から楽しみです。

ム広場、海を眺めながら飛行機も見られる大好きな場所だそうです

じゅんと® >>>>> S 卷頭特集 pecial Interview

